



10月園だより

令和5年 10月2日
目黒区立大岡山保育園
園長

とても暑かった長い夏がようやく終わりに向かい、戸外での遊びが充実する季節となりました。園庭からは全クラスの賑やかな声が事務所にも届いてきます。2歳児クラスの2人が、お母さんと子どもになって砂場で遊んでいます。親役の子が3種類くらいのお皿に砂を入れ、しゃもじで黒砂を平らになるように押しています。「ふりかけかけるね」と言って白砂をそれぞれの皿に指で落としていきます。次に牛乳パックで作った遊具を運び、椅子やテーブルに見立てて食事をのせ忙しそうに動いています。こども役の子が「あー疲れた」とお母さん役の子に向かって言う。「じゃあここに座って。今ご飯炊けたからね」と説明しながらさらに忙しそうに動いています。ほんの1コマの切り抜きの場面ですが、家で保護者の方の姿を自分の身にかぶせて再現されている様子が伺え、なんとも愛おしく可愛らしい姿でした。2歳児クラスの子どもたちは、言葉での表現も豊かになり、注意力や観察力も増してきます。身近な親の姿、行ったところでの印象的な職業の人などを模倣して遊ぶ姿が見られるようになります。まだごっこ遊びのやりとりというよりもイメージを少し共有しながら、自分の思いやペースで遊ぶ年齢です。空想の世界でありながら、友達同士で遊びのイメージが繋がった時の喜びは、代え難い経験になると思います。

今、運動会に向けて朝の活動として5歳児クラスが竹馬、4歳児クラスが天狗下駄に取り組んでいます。保護者の方に見てもらいたいと期待を膨らませながら、励んでいる姿にこちらまで胸が高鳴ります。運動会当日はご家族皆様で楽しい一日をお過ごしください。



4歳児クラスの忍者体操



2歳児クラスの運動遊び

～「副園長から見た運動会の取り組み」～

- 9月21日(木)に運動会の幼児練習がありました。3、4、5歳児クラスが園庭に集まり一緒に行う初めての練習です。3歳児クラスのAちゃんは、みんなが準備している中「やらない。見てる」と言って靴を履こうとしません。そこで、私と並んでテラスに座り一緒に友達が練習しているのを見ていることにしました。
- 始めは表情の固いAちゃんでしたが、少しずつ手だけ動かしたり立ちあがったりするようになりました。その姿を見て「Aちゃんは、本当はやりたいけれどみんなに見られていてドキドキしてしまうのかな」と思い、心がほぐれるように楽しい話をたくさんすることにしました。かけっこが始まったので「Aちゃん、かけっこだね」と言うと「やらない。でも、はやいよ」と教えてくれました。「そうなのね、そしたら今度見たいな」とお願いすると「うん!」と頷きます。見守っていると、次のクラス競技の時にはクラスの輪に加わり楽しそうに参加していました。運動会に対する思いは子どもたち一人ひとり違います。本番を目指して頑張ろうと張り切っている子もいれば、練習は楽しいけれど見られるのは恥ずかしいからいやと思っている子もいるでしょう。それでも保育士や友達と一緒に、運動会の練習や本番を経験していくことで、子どもたちはできるようになった喜びを感じたり、心の葛藤を乗り越えたりしながら成長していきます。運動会当日に向けて職員全員で応援していきたいと思えます。

運動遊び（乳児クラス）

0歳児クラス（いちご組）

「バナナホールに行こう」と声を掛けると、子どもたちは嬉しそうに集まってきます。

バナナホールに入るとトンネルや巧技台や肋木等、子どもたちは好きな設定場所に向かっていきます。Aちゃんは巧技台に1番に向かっていき、40センチの巧技台に手をついて体を引き上げ、足を乗せようとしますがなかなかうまく上がりません。見守っていた保育士が後ろから手伝おうかと思っていると、自分で膝を乗せてよじのぼることができました。巧技台の上に立ち上がると、嬉しそうに両手をあげて“ばんざーい”と満面の笑顔です。保育士も嬉しくてみんなで拍手をしました。最近歩行ができるようになったBちゃんも一緒によじのぼるとゆっくりとその上で立ち上がってばんざいをしました。バランスを取りながら、慎重に手をあげて、嬉しそうに笑っています。その後も次々巧技台に向かってやろうとする子が集まってきました。「自分でできた」という満足感や見てもらえる嬉しさが子どもたちの意欲や次への興味につながります。また友達から刺激を受け、やってみたいという意欲も膨らんでいます。子どもたちのやってみたい気持ちに寄り添いながら、楽しく遊んでいきたいと思えます。



1歳児クラス（もも組）

凸凹のマット山の遊びでは、ある子が保育士の手を握りながらバランスを取って慎重に一步一步進んでいきます。握っている手をプルプルと震わせながら真剣な表情で渡りきると、緊張が解けた様子で頬を緩ませ「できた」と嬉しそうな表情で保育士に視線を送ります。「出来たね」と返すと、また自分からマット山へと向かっていきました。次に1人でマット山を渡ろうとすると、1回目より足取りも軽く、保育士の手を握りながらも自分でどんどん進んで渡りきる事が出来ました。出来たことが少しずつ自信になり嬉しくて、3回目は保育士の手を握ることなく自分から渡り始めています。途中バランスを崩し四つ這い姿勢になりますが、自分で体勢を整えて渡りきる事が出来ました。「すごいね、出来たね」と保育士が拍手して声をかけると、満足気な表情で繰り返し渡ることを楽しみました。やってみたい、でもできるかなという気持ちを行き来しながら自分の力を試し、できたという嬉しさや体を動かす面白さを味わっています。そんな子どもたちの心の動きに共感しながら楽しめるように関わっていきます。

今月の予定

運動会（2～5歳児クラス

※0、1歳児クラスは自由参加）

乳児内科検診 13:30～

芋ほり遠足（4、5歳児）

焼き芋会（雨天の場合順延）

幼児内科検診 13:30～



11月の予定

幼児お楽しみ会

歯科検診 9:30～